



特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター (略称:NPO法人エコネット近畿)



# もくじ

# もくじ

事業期間 1年のまとめ・・・・・・・・・・2
1.情報の受発信・交流・・・・・・・・・・・・・・・・・3
<ul> <li>・1-1 第15回 エコネット近畿情報交流会 の開催</li> <li>・1-2 エコネット・カフェの開催</li> <li>・1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開</li> <li>・1-4 各展示会への出展</li> </ul>
2. 団体・人材育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.コーディネート・・・・・・・・・・・・・・・・・・13 ・3-1 企業と環境NPOの協働セミナーの開催 ・3-2 CSRのコーディネート
4.コンサルティング・・・・・・・・・・・・・・・15 ・4-1 個別相談業務
5.統一テーマ活動・・・・・・・・・・・・・・・・16 ・5-1 河川流域自然環境再生支援/クリーンアップ活動への協力
6.その他(他団体との連携・協力など)・・・・・・・・17
運営体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
会員の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

事業期間 1年のまとめ

#### 事業期間

2019年4月1日~2020年3月31日

#### 1年のまとめ

2019年度は①基幹事業と自主事業の相互補完、②参加者の意識変容やスキルアップの測定、③ 連携主体との関係性の深化を目標として、2つの基幹事業(助成金セミナー、情報交流会)を核に 事業を展開した。

2月の情報交流会「ささやまミーティング」は年度最後の集大成事業として、メインテーマを SDGsにして自主事業との関連性を持たせたり、自主事業で深められなかったテーマを分科会に取り入れたり、各セミナー参加者に参加を促したり、事業の相互補完に注力し、102人が参加する近畿最大の宿泊参加型ミーティングとなった。内容は全体会で「交流」「連携」等の言葉の理念を 考えることで、分科会や個別の活動紹介により深い学びと気付きを促すささやまミーティングスタイルを踏襲しながらも、多様で経験豊富な実行委員によって、活動に関わる人が興味を持つ内容や 仕掛けが随所に盛り込まれており、様々な主体との協働が成果へとつながった。

大型台風接近のためにもう一つの基幹事業である助成金セミナー「資金調達まるわかりセミナー」は中止となったが、開催できていれば、参加者、助成財団参加者あわせて、100人を超える過去最大規模になる予定だった。また、今年度の助成金セミナーは、姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働し、エコネット近畿が企画や助成財団との連絡の中心となることで、北海道と東海の助成金セミナーの成功に大きく貢献した。

エコネット・カフェでは、大阪市立総合生涯学習センターの助成を受け、環境事業協会と講座を リンクさせる取組みを行う等、他団体と連携した取組みを多く行い、自主事業でも協働を通して、 連携主体との関係を深化させた。

また、初めて行政の事業受託も試み、収入源の幅を広げ、収益を出すこともできた。

今年度は、大型台風の接近や新型コロナウィルス感染拡大の影響で、セミナーの中止や、委託事業の報告会の中止を余儀なくされた。しかし、新型コロナウィルスに関しては、姉妹団体と共に環境助成サポートチームを作り、環境活動に助成する財団と採択された活動団体との情報の架け橋としてのホームページを立ち上げ、助成財団同士の情報交流を促す助成サミットをインターネットを使って行った。これは情勢に合わせた柔軟な支援を行うエコネット近畿の成長と言える。

組織としては、3人の団体や会社を主導する新理事を迎え、若手の副理事長を2人追加選任し、 事務局長も若手に交代する等、更なるエコネット近畿の発展に向けた組織編成を行った。

2019年度は事業だけでなく、現3ヵ年計画の最終年ということもあり、次のエコネット近畿の活動展開について話し合う場を設けた。今までは理事を中心に計画づくりを行ってきたが、理事と会員の有志からビジョン委員会を立ち上げ、エコネット近畿の今後を話し合い、新3ヵ年計画を策定した。更にエコネット近畿の強みを生かした中間支援組織となることをめざし、3ヵ年計画の事業をブラシュアップさせた事業企画を行うプロジェクトチームを2月末に立ち上げ、話し合いを重ねている。

1.情報の 受発信 • 交流

- 近畿の持続可能で豊かな社会の実現に関わる情報(提供・仲介)の受発信
- 環境保全活動のネットワーク構築

### 1-1 第15回 エコネット近畿情報交流会 「持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング」の開催

今年度も多様な実行委員や参加者に恵まれ、過去最大規模の情報交流会の開催ができた。1泊2日の交流会で、刺激を受けた参加者は多く、その出会いを少しでも持続させる方法として、今回初めてFacebook「ささやまミーティング2020グループ」を立ち上げた。現在、参加者の半数以上の人が参加している状態だ。今後は、開催の時間経過後の連携や交流についても、 Facebook等を活用し、効果を測っていく。

- 【目 的】①近畿の団体、個人が出会い、学び合う場、連携のきっかけを提供する。 ②団体の組織運営力の強化、個人のスキルアップを目指す。
- 【事業概要】地域の環境課題に取り組む活動団体に焦点を当て開催する。様々な団体、個人が分野、 立場、世代を超えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、自らの活動を「持続 可能な社会・なりわい・暮らし」という観点で問い直し、活動を紹介し合い、語り合 い、学び合うことを目指す。これからの社会を創る!そんな思いを胸に、ミーティン グに集い、ネットワークを広げ、パワーアップする。
- 【実 績】参加者数: 102人 71団体(一般 50人、会員35人、学生17人) 新規参加率: 61% (前年46%)

宿泊者数:日帰り数=98人:4人(前年 宿泊者数:日帰り数=68人:11人) 学び合いの場として大変満足と答えた参加者10%アップ(前年42%→52%) 組織運営力や個人のスキルアップに関する満足度9%アップ(前年66%→75%) Facebook「ささやまミーティング2020グループ」や自伐林業をめざす森林分野の SNSグループが立ち上がり、交流会終了後も継続した交流の場ができた。

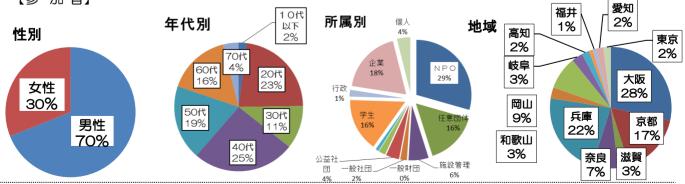
【実施日時】2020年2月14日(金)・15日(土)(1泊2日)

【実施場所】ユニトピアささやま (兵庫県丹波篠山市)

【対 象 者】農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動実践者・運営者、企業、 行政等の担当者、大学等の研究者、学生

【参加費】一般 12,000円、会員 11,000円、学生 8,000円

【参加者】



1.情報の 受発信•交流

容】①オープニング、アイスブレイク 【内

- ②事例紹介、全員参加パネルディスカッション
- ③活動発表 17枠 同時進行
- 4交流会
- ⑤分科会(5テーマ)、フリー分科会(3テーマ)
- ⑥ポスターセッション 7枠
- (7)早朝オプションプログラム、ふりかえり

【主 催】 【共 催】 【企画·運営】

催】NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団 催】公益社団法人大阪自然環境保全協会 芝】ささやまミーティング 2020実行委員会 援】大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県 関西SDGsプラットフォーム、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援 センター カ】パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニトピアささやま 【後

【協



【課 題】・時間経過後の「連携」、「スキルアップ」など効果測定

・多様な分野、異なるセクターの参加・巻き込み

【収 入】3,504,019円(セブン-イレブン記念財団助成金、参加費、他)

出】3,304,366円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他) 【支

【収支差額】 199,653円

## 1.情報の 受発信 • 交流

- 団体の活動を社会に認知される機会と場の提供。
- ・ 興味関心のある分野の情報について他の団体と交流する。

#### 1-2 エコネット・カフェ(環境井戸端会議)の開催

エコネット・カフェの開催により、参加者のSDGsへの認知度が高まったとのアンケート結果だった。また、SDGsに関する問い合わせが増え、他団体の類似講座開講の協力もでき、SDGsの啓発に寄与できました。SDGsというテーマを合わせたので、2社4団体が情報交流会とエコネット・カフェの2つの事業に参加した。

#### 【事業名】SDGsをもっと身近に!

【趣 旨】SDGsには、身近な環境や暮らしにおいて市民自らが取り組める目標が多くあるが、 認知度は高くない。そこで、啓発活動の一環として、SDGs実践者によるゲームや ワークを通して、参加者がSDGsの基本情報を知って、一人一人が関心を持ってつ ながり、社会の変容を導くアクションをおこしたり、意見交換することを目指す。

【対 象】SDGsに興味がある方、実践者、どなたでも

【会 場】大阪市立総合生涯学習センター 第7研修室または第8研修室

【開催時間】各回 19:00~21:00 (第5回目のみ 19:00~21:30)

【実 績】参加者数 のベ77人(目標75人、事前申込者103人)



7/3

8/7









### 「マークに注目!! 自然にやさしいおかいもの」

【講師】 市川晴子さん(天王寺動物園) 高坂悦子さん(元 天王寺動物園 教育普及担当)

【内 容】SDGs基本情報の紹介。日常の消費行動が、生態系や自然界にどのような関わりがあるか、環境認証マークを通して学んだ。

【実 績】参加者数 14人(目標15人) 企業や団体だけでなく、個人の暮らしもSDGsに直結 することを実感していただき啓発セミナーとして成功。



#### 「防災ゲーム ~ 住みつづけられるまちづくり ~」

【講師】平櫛武さん(ひめじ防災ラボ&スタディ事務局:キタイ設計株式会社)

【内 容】SDGs基本情報の紹介。防災意識を日常生活の中に 織り込む『自分ごと』を大事にするため「なまずの 学校」「HUGゲーム」を体験。災害時の避難所で SDGsにどのように配慮すべきかを学んだ。

【実 績】参加者数 16人(目標15人) 企業、地縁組織など多様な主体の参加があった。



1.情報の 受発信•交流

9/4

#### 環境トークバトルゲーム「がちかん」<sup>~</sup>環境を遊び×まなび=∞

師】NaLab. (ならぼ) 奈良女子大学 【講

【内 容】ESDとSDGsの関係などSDGsの基礎情報の紹介。 奈良女子大学ならぼが開発した環境バトルゲーム 「がちかん」を使って、参加者がグループディス カッション。

績】参加者数 20人(目標15人) 【実 環境事業協会とのコラボ「おおさか環境市民大学の 受講生も参加。



11/6

#### 「SDGsの原点を振り返る ~ロールプレイで学ぶ公害~」

【講 師】栗本知子さん(あおぞら財団)

【内 容】ESG投資や企業の関わりなどSDGsの基礎情報の紹介。 街で公害が起きた時をロールプレイングの手法で体験。 SDGsの理念「誰も取り残さない持続可能な社会」の 実現を自分ごととして捉えた。

【実 績】参加者数 12人(目標15人) 新規顧客の割合多い。企業、学生の参加増。



12/5

### 「SDGsカードゲームで体験しよう!」

【講 師】藤田美保さん(箕面こどもの森学園)

容】SDGsについての基礎情報の紹介のあと、カードを 【内 使って、寛容・社会・経済のバランスのとれた2030 年を疑似体験。全5回のまとめとして、自分が取り組 む「わたしのSDGs宣言」を発表。

【実 績】参加者数 15人(目標15人) 環境分野だけではなく、男女共同参画や、他府県の 中間支援組織等、その後セミナーが広がった。



題】・講座終了後、参加者が所属する企業や団体で、SDGsをテーマとした事業企画を示され、現在それぞれ選択されるテーマに沿って個別相談対応中・対象顧客の認知度はセクターによっても異なり、内容を深めるには絞り込みも必要 【課

入】1,035,154円(大阪市NPO市民企画助成委託事業費、参加費、他) 【収

【支 出】1,064.558円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

【収支差額】 ▲29,404円

1.情報の 受発信 • 交流

### 1-3 ホームページ、メールニュース、Facebook等による情報発信・公開

前年度に比べ、アクセス数は減っているが、団体・行政・助成財団からの配信依頼は多く、情報提供の場としての役割を担っている。今年度はホームページを中心とした情報発信方法について、ビジョン委員会や理事会で話合われ、来年度のホームページや情報発信について、改善することとなった。

#### 【目 的】支援する人・団体と支援を求める人・団体を「結ぶ」

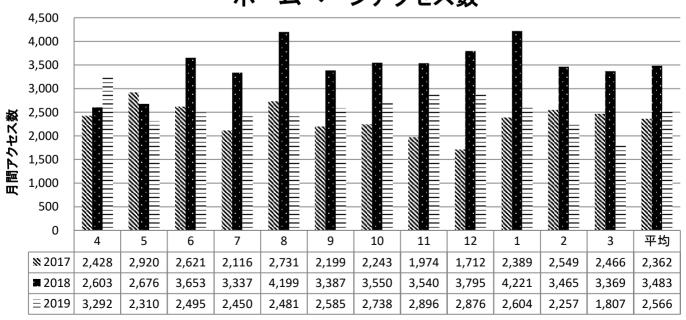
- ①行政、企業、研究機関、環境NPO間の情報発信・交流
- ②多様な環境活動情報の配信による、環境啓発
- ③会員団体の情報発信
- ④地域資源のリソースマッチング(人材、フィールド、資金等)

【事業概要】環境NPO、行政、企業、研究機関、地域住民に対し、環境情報、イベント情報、 助成金・補助金情報、ボランティア情報、会員のインタビュー記事等を配信

#### 【実 績】

- ホームページアクセス (閲覧者数): 平均 2539 アクセス/月
- メールニュースの配信 月2回 登録数:2007件
- ・ 会員メールの配信 随時 26号
- Facebookでの発信 随時 友だち 701人 フォロワー 745人
- Twitterでの発信 随時 フォロワー 644人

## ホームページアクセス数



1.情報の 受発信 • 交流

### 1-4 各展示会への出展・活動紹介

展示会への出展や活動紹介、グループワークの参加を通して、口頭での団体PRや顔の見える関係の交流やネットワーク構築ができた。

- 【目 的】①活動の広報および参加者交流 ②環境活動の市民へのひろがりを目指す
- 【実 績】・3会場(イベント)※3月参加予定のイベントは新型コロナウィルス感染拡大により開催中止・エコネット近畿の事業と会員活動の紹介(イベントチラシの配架)

<第12回 水辺の匠おもしろステージ>

【実施日時】2019年7月20日(土)・21日(日)

【実施場所】水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶(滋賀県大津市)

【主 催】ウォーターステーション琵琶の会

【内 容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、当日運営スタッフとして参加 滋賀県立教育大学による琵琶湖の現状調査アンケートの実施協力

#### <2019年度近畿ESDフォーラム>

【実施日時】2020年1月11日(土)

【実施場所】OMM(大阪マーチャンダイズ・マート) 201・202会議室

【主 催】環境省近畿地方環境事務所、近畿地方ESD活動支援センター

【内 容】エコネット近畿 主催事業のパネル展示、ささやまミーティングのPR

<大阪府環境パートナーシップ交流会 SDGs環境交流セミナー>

【実施日時】2020年2月2日(日)参加者 50人

【実施場所】エルおおさか 南1023号室

【主 催】大阪府

【内 容】エコネット近畿 活動紹介、ささやまミーティング紹介のプレゼン、 プレゼンタイトル

「環境中間支援組織NPO法人エコネット近畿の活動~これからの社会を創るために~」

### 2.団体 • 人材育成

- ・持続可能な社会の形成に向けた地域づくりを行うNPOに対し、活動支援 となるセミナーを開催
- 環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップ

#### 2-1 第15回環境市民活動助成金セミナー「資金調達まるわかりセミナー」の開催中止

大型台風の接近により、参加者や関係者の安全を考慮し、開催を中止とした。参加予定者で資料希望者には、セブン-イレブン記念財団の助成により、無料で資料を送付し、助成金の申請や採択に至った団体もあった。希望があった助成財団には個別の助成金説明会を行ったり、情報交流会で助成金セミナーの一部を味わえる分科会を開催する等、できる限りのフォローアップを行った。

近畿では開催に至らなかったものの、姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働し、エコネット近畿が企画や助成財団との交渉の中心となることで、北海道と東海のセミナーに貢献し、定員を超える参加と質の高いセミナーの提供に貢献できた。

- 【目 的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する ②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す
- 【事業概要】参加団体の成長ステージにあわせ、助成申請に関する事務力向上や事務局のネットワーク構築の機会として、選択制の講座を助成金セミナーと同日に開催セミナー終了後も、個別相談などでフォローアップを行う
- 【実 績】2019年10月12日に開催予定であったが、大型台風接近のため、開催中止となった
  - 申込者数 67人 (定員50人を上回る申し込み)
  - ・地域別申込者数 (大阪25人、京都10人、滋賀1人、奈良10人、兵庫14人、 その他7人)
  - 地域の中間支援組織からの申込者数 5団体 (招待券含)
- 【収 入】 2,242,612円(セブン-イレブン記念財団助成金、協働事務手数料、他)

【支 出】 2,217,098円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

【収支差額】 25,514円

2.団体 • 人材育成

### 2-2 資金調達に関するスキルアップセミナー 共感を呼ぶファンドレイジング

環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップをめざして企画したセミナーでしたが、国際団体や子ども支援等多様なテーマのNPOの運営スタッフの参加がみられた。環境ではないテーマの団体から、後日相談があり、大阪府の「太陽光発電事業支援プログラム」をマッチングを行うに至った。資金調達まるわかりセミナーの中止により、資金調達をさらに深める形には至らなかった。

【目 的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する ②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す

【事業概要】助成金セミナーの補完事業として位置づけ、資金調達についての考え方と設計についての情報提供とスキルアップを目指して頂く

【実 績】参加者数 10人(目標数15人) 会員獲得数 1(団体・人)

【実施日時】2019年9月19日(木) 19:00~21:00

【場 所】エコネット近畿事務所

【参加者】一般 1,000円、会員 500円

【講師】河合将生さん(NPOの家庭教師)

【内 容】資金調達と共感の関係を考える 関係性を築く(内・外)、事業と運営の両輪 団体プレゼンワーク

【収入】243,635円(参加費、他)

【支 出】248,072円(講師謝金、旅費交通費、他)

【収支差額】 ▲4,437円





### 2-3 マネジメントセミナー 「寄付チラシづくりのコツ」

講師の紹介により、『キフフ助成~「寄付チラシ」の作成支援助成』公募とタイアップし講座開催ができ、NPOにとっての新たな資源開発につなげることができた。マネジメントセミナー参加者が資金調達まるわかりセミナーの申込や情報交流会に発表者として参加する等、次の事業へ参加の促進につながった。

【目 的】①近畿の環境団体の「組織運営力」のスキルアップによる活動の活性化 ②組織において運営のコアな部分に関わるスタッフ育成

【事業概要】環境NPOが社会の変化に対応し、「事業計画」、「人材育成」、「資金調達」、「ニーズ分析」、「組織マネジメント」のほか「NPO会計」等の実務のスキルアップをめざしていただくためのワークショップ、講座を織り交ぜ体系的に実践力を養う

【実 績】参加者数 11人(目標数15人)

【実施日時】2019年7月30日(火) 19:00~21:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【対 象】スキルアップをめざす団体運営スタッフ

【参加費】1,000円(資料代、実費)

【講師】林田全弘さん(小さなNPOのためのデザイナー)

【内 容】ミニレクチャーとワークショップ 講座終了後、質問への回答をフェイスブックで公開

【収入】246,135円(参加費、他)

【支 出】247,031円(講師謝金、交通費、他)

【収支差額】 ▲896円







# 2.団体・人材育成

### 2-4 会員団体への会議室・備品の貸出

【事業概要】会議室・備品の貸出などの支援により、少人数のセミナーを開催し活動を広めて いただく機会と場を提供する。

### 会議室利用のこ

エコネット近畿では、会議室の貸室を行っています。 環境に関する学習活動や、研修、会議の場としてご利用ください。



- ●開館時間● 平日 9時30分~18時30分まで
- ●受付電話● 06-6881-1133
- ●受付時間● 平日 9時30分~18時30分まで
- ●定 員● 18人 床面積 30㎡×1室

#### 申込方法

- 1、電話にて、会議室の空き状況を確認してください。
- 2、使用目的と人数、時間帯をお知らせください。 3、2か月先までのご予約をお受けいたします。

#### 会議室利用時間について

利用時間	平日 9時30分~18時30分(夜間は要問合)
正会員	無料
賛助会員	無料
一般	ご利用いただけません

- 申請された使用時間内で準備・後片付け を行ってください。
- ・開館時間以外でご利用の際は、事務局に ご相談ください。
- ・館内は禁煙となっておりますので、喫煙はしないでください。
- 期間により「冷暖房装置に係る加算額」 を別途徴収する場合があります。

#### 付属設備について

急須

長机 18脚 ホワイトボード (可動式) 1台 湯沸かしポット 1台 マグカップ 15客

- パソコンは、各自ご持参ください。
   会議室は、WiFiをご利用いただけます。
   施設・器具等を紛失したり、き損した時は、速やかに事務局に申し出てください。
  - なお、この場合、使用者に損害を賠償していただく 場合があります
- 4、左記以外に必要な設備はご相談ください。

1個 お申込・お問合せ エコネット近畿 事務局

530-0041大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町 401

**C** 06-6881-1133

会議室貸出		68件		
年月	回数	利用者数		
2019年 4月	6	39		
5月	5	46		
6月	5	26		
7月	9	58		
8月	11	82		
9月	4	26		
10月	4	20		
11月	3	26		
12月	4	22		
2020年 1月	3	16		
2月	4	21		
3月	10	84		
合計	68	466		
備品貸出		4件		
備品(ごみハサ	ミ) 3件 /	240本		
大川クリー) 川で遊ぶ・1		100本		
BLUE SANTA 40本				
天神祭ごみセ	100本			
その他の備品貸	 出件数	1件		
オリーブフォー	-ラム スク	リーン等		

### 3.コーディネート

- 近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- ・環境活動における地域間、分野間の協働推進
- 環境活動資源交流(人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル)

### 3-1 企業・行政・環境NPOの協働セミナーの開催

NPOと企業の連携・協働を具体的に進める目的で、「地域資源循環」をテーマに、1つの事例 を5つのセクターから多角的に発表いただく方式の結果として、他の地域でも行政やNPO、企業 といかに連携を進めていくか、外部から地域に入って交流人口の拡大をはかる注意点などが、具体 的に示され、満足度が高かった。また、参加者が事例地域にかかわるか、または、同様の課題に取 り組んでおり、短時間でも活発な意見交換・情報共有ができ、今後も関係を持っていく可能性が見 られた。内容は充実していたが、汎用的な事例としてのうまく広報できなかった。

的】①企業とNPO、行政の連携・協働事例から新しい協働のヒントを得ていただく ②企業とNPO、行政の協働を考える場、出会いの場を提供する

【事業概要】企業や行政、地域の方に、環境NPOの活動を認知していただく機会として場を提供 すると共に、潜在的な協働のニーズやウォンツを探る場とする

【実 績】参加者数 17人(目標数30人) 会員獲得数 4 (団体・人) セミナー後、能勢、川西市の団体から連携相談があり、協働セミナー参加者を紹介

【テーマ】のせでんアートライン2019に学ぶ協働の一歩先! 「能勢」の地域資源循環

【実施日時】2019年12月3日(火)13:30~16:30

【実施場所】龍谷大学梅田キャンパス

【対 象】協働に関心のある企業、行政、環境NPO

【内 容】①SDGsに関する情報提供 ②のせでんアートラインの事例発表 ③グループディスカッション NPOと企業の連携・協働を具体的に進める目的で、 「地域資源循環」をテーマに、地域を「のせでん 沿線エリア」(川西市、猪名川町、能勢町、豊能郡)

に絞り込んで開催1つの事例を5つのセクターから多角的に 発表いただいた。

【参加費】一般 3.000円、会員・学生 1.000円

【発表団体】辻田卓也さん (能勢電鉄株式会社鉄道) 梶間千晶さん (大阪府池田土木事務所)

平田常雄さん (NPO法人大きな樹)

藤村滋弘さん (BEYOND BORDERS)

大森淳平さん ((有)OM環境計画研究所)

コーディネーター:藤田美保さん(箕面こどもの森学園)

【後 援】大阪府、近畿経済産業局、関西SDGsプラットフォーム

入】375,891円(参加費、他) 【収

【支 出】370.517円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

【収支差額】 5,374円





### 3.コーディネート

- 近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- 環境活動における地域間、分野間の協働推進
- 環境活動資源交流(人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル)

#### 3-2 CSRのコーディネート

【月 的】企業と環境NPOの協働を促進する

【事業概要】環境活動を推進しようとする企業に対し、連携する環境NPOの紹介や環境活動へ助言や支援を行う。また、持続可能な環境活動のため地域資源の紹介やマッチングを行い、企業と環境NPOの交流をはかる。

【実 績】イオンリテール株式会社からの依頼

イオンの店舗が地域の子供向けに環境をテーマに体験と学習を行うクラブ「チアーズクラブ」を実施している。そのクラブの年に1度の活動発表である近畿地区予選会、大阪地区予選会の2つの予選会の審査員を行う予定(3月22日)。今回はマッチングではなく、まずはこちらが審査員を行い、今後の展開を模索する。

近畿地区予選会はエコネット近畿とイオンの各都道府県の営業部長、大阪地区予選はエコネット近畿と他1団体(公益社団法人大阪自然環境保全協会)が市民団体として審査を行う。

→新型コロナウィルス感染症対策のため開催中止

※2017年度、同社から個別相談があり、事業に発展

### 3.コンサルティング

- 持続可能な地域づくりを行う環境NPO、企業、行政に対し、各相談に応じ 助言や紹介、支援を行う
- 環境活動をすすめる際に必要な支援を受けたり、情報を入手できる場となる

#### 4-1 個別相談への対応

今年度は昨年度に比べ、相談件数は大きく減少した。新型コロナウィルス感染症の影響もあり、 後半のイベント開催が減ったことも要因の一つと考えられる。

全体的な相談の傾向は変わらないが、今年度は事業の協力や研究の協力等、協働事業につながる相談がいくつか見受けられた。以前から関係性の深い団体やHPを見た企業から、エコネット近畿を知った上での、具体的な相談が出てきた。

相談をする方から、最初に無料で相談ができるのはいいが、更に具体的な相談をする際に、手数料を支払うほうが気兼ねなく相談できるという声もあるため、今後、メニューや料金の設定等を検討していく必要がある。

- 【目 的】①環境NPOが抱える個別の課題に共に向き合い、解決への糸口を見出す
  - ②団体内の課題を解決することで、活動の活性化を促す
  - ③相談内容から共通課題を抽出し、支援事業を実施する
- 【事業概要】環境活動をしている団体、または、これから環境活動を始めたいと考える個人にに対し、電話やメール、ファクス、来所にて随時相談を受け付ける。

また、各セクターが地域で環境活動を推進しようと考える際に必要な情報を提供する。

- 【実 績】対応件数:259件 (昨年:432件)
  - 広報支援依頼:173件(昨年:230件)

イベント情報等メールニュース、ホームページへの掲載依頼、チラシの配架依頼

・ 資金調達についての相談: 23件 (昨年: 55件)

		分 類						
		任意団体	NPO団体	企業	市民	行政	助成財団	
合計件数	259	12	180	11	17	22	17	
比率		5%	69%	4%	7%	8%	7%	
前年件数	432	75	203	31	41	49	33	

		項目							
		ヒト	モノ	資金	情報	マネジメント	ノウハウ	専門性	協働
合計件数	259	17	5	23	173	5	10	16	10
比率		7%	2%	9%	67%	2%	4%	6%	4%
前年件数	432	176	24	55	230	14	18	19	26

		会員別						
		非会員	会員	個人正会員	団体正会員	個人贊助会員	団体賛助会員	
合計件数	260	186	74	15	46	3	9	
比率		72%	28%	6%	18%	1%	3%	
前年件数	432	264	168	44	100	7	17	

### 5.統一テーマ活動

近畿の持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域や分野を越えて、 個別団体の活動をつなげる

#### 5-1 河川流域自然環境再生支援/クリーンアップ活動への協力

【目 的】①環境啓発活動として地域と連携した一斉活動(一斉調査、一斉清掃等)を行う ②NPO活動の「見える化」と「活性化」

【事業概要】「きれいな水辺でつながろう〜びわ湖・淀川クリーンアップ」をキャッチフレーズに、NPO活動の「活性化」、「見える化」を支援することで、広く市民に環境問題への気づきを広め、地域住民の生活環境の改善を図る。 地域で実施する一斉清掃に、ごみハサミの貸出や広報による協力を行ったり、Webサイト上に、クリーンアップ活動団体情報やイベント情報を掲載。

【実 績】海ごみ関連の情報掲載 全国川ごみ拾いアンケート調査 広報協力

【実施日時】随時

【対 象】近畿の河川流域で活動しているNPO・企業・行政・専門家および住民

【内 容】Webサイトへの情報掲載

#### <BOOK CHORIKAWA エコ☆スカ 2019>協力活動・運営委員会への参加

【日 時】2019年12月14日(土)10:00~11:30

【実施概要】ごみ拾い、古着回収、クリスマスリースづくり、カフェ

- ・防災マップに書かれた10コースを、グループ4~5名で巡回
- ごみ拾いをしながら、避難場所や町内会掲示板の場所を知る
- 古着回収(コミュニティー回収)で得た収益を地域に寄付
- ・カフェやクリスマスクラフト、当日抽選でグループ分けをし
- 近隣住民のコミュニケーション不全の解消
- 【役割】エコネット近畿は、実行委員会副代表として参画 当日運営の協力、SNSによる広報、備品の貸出に携わる

【実 績】参加者63人

大阪市北区長も参加し、他の地域での水平展開が期待できる地域活動協議会と連携し、古着回収と寄付ができた J:COM大阪中央ケーブルテレビで当日の模様が放送された

次年度以降他地域でも開催の予定

【実施場所】大阪市北区堀川小学校および堀川小学校区 (大阪府大阪市)

【主 催】HORIKAWAエコ☆スカ実行委員会

【協 力】堀川地域活動協議会、堀川連合振興町会、 堀川地区社会福祉協議会、堀川女性会、 堀川小学校、NPO法人エコネット近畿

【収 入】 120,378円 (家電エコポイント寄付金、他) 【支 出】 150,930円 (通信費、支払手数料、他)

【収支差額】 ▲30,552円

※詳細については、財務諸表の注記、使途制限のある寄付参照

#### 6 その他 (他団体・行政との協働・連携・協力など)

#### <他団体・行政との協働・連携>

- ●環境助成サポートチームの起ち上げ
- 【概 要】新型コロナウィルス感染拡大を受け、各地でイベントが中止になる中、助成を出している団体と受けている活動団体の双方の情報の整理と、よりより助成金制度確立のために、セブン-イレブン記念財団から助成を受けている3つの環境中間支援組織が協力し、チームを立ち上げた。
  - ・助成団体への提案書の提出 2020年3月7日に91の環境活動に助成す る助成団体に、助成金を受けている活動団 体の困りごととその解決に向けた提案を記 載した提案書を提出し、それぞれの助成団 体の対応の返答を求めた。
  - ホームページの開設 2020年3月7日に提案書を受け、助成団体 がそれぞれの対応を返答したものを一覧とし て、掲載できるホームページを開設した。
  - ・第1回WEB版助成サミットの開催 (新型コロナウイルス対策WEB会議)



【実施日時】2020年3月25日(水)13:30~15:00

【内 容】・助成活動団体へ対応、今後の助成金公募や採用時の配慮などの情報交換

・活動団体が新型コロナウイルス感染拡大化での課題、参考になる情報の共有

#### 【参加助成団体】

- 一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- 公益財団法人秋山記念生命科学振興財団
- 独立行政法人環境再生保全機構
- ・認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金
- トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」事務局
- 認定NPO法人北海道NPOファンド
- 公益財団法人北海道環境財団株式会社北洋銀行 (基金事務局として公益財団法人北海道環境財団が出席)
- 株式会社ラッシュジャパン

【収 入】186,555円(参加費、他)

【支 出】179.755円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

【収支差額】 6,800円

### 6.その他

#### く他団体・行政との協働・連携>

- ●滋賀県立大学講師「琵琶湖流域の現状評価に関するアンケート調査」の協力(調査研究協力) 2019年7月3日~10月31日 イベント、会議室利用等でのアンケートの配布、回収
- ●一般財団法人環境事業協会・ネイチャー大阪共同企業体主催「おおさか市民環境大学」との連携 2019年8月10日~11月30日 参加者 26人
  - ・エコネット近畿主催の3つのセミナーが、修了認定の連携講座として参加者に紹介された (受講生はスタンプカードを持参、5つで「おおさか市民環境大学」修了認定)
    - 1. エコネット・カフェ「SDGs をもっと身近に!」2019年9月4日、11月6日
    - 2. 「共感を呼ぶファンドレイジング」 2019年9月19日
    - 3. 「資金調達まるわかりセミナー」 2019年10月12日 (台風のため中止)
  - おおさか市民環境大学での団体紹介プレゼン、相談ブース開設 2019年12月14日 参加者 7人
- ●大阪府「万博とSDGs貢献に向けた環境・エネルギーの課題と提案に関する基礎情報検討調査」の受託 2019年9月~2020年3月
  - ・2025年の大阪万博に向けて、環境・エネルギーの新技術やアイデアの調査報告書作成
  - 若者ワークショップの開催(全5回 2019年9月27日、11月6日、12月4日、12月23日、2020年1月21日) 参加者 のべ98名
  - 万博×環境 未来を描こうプロジェクト 報告会 2020年2月19日 (新型コロナウィルス感染症対策のため開催中止)
- ●コスモ石油エコカード基金助成金説明会の協働開催2019年11月22日13:00~15:00 参加団体 4団体

#### <他団体への協力>

- ●認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金主催 「オリーブフォーラム〜海ごみに関する連続講座〜」への協力 2019年7月6日、8月3日、9月7日 参加者 のべ105人 広報協力、運営協力、備品貸出等
- ●NPO法人木育フォーラム主催「木育・森育 近畿フォーラム 2019 in 京都」への後援 2019年10月4日、5日 参加者 91人(エクスカーション参加者含む)
- ●天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会主催「天神祭ごみゼロ大作戦2019」への協力 2019年7月24日、7月25日 来場者数 130万人 ボランティア参加者 のべ980人 ボランティア募集等の広報協力

6.その他

#### く他団体への協力>

●一般社団法人NPO会計力検定協会主催「第2回 NPO法人会計力検定」への協力 2019年8月25日 広報協力、情報提供協力

#### <委員の委嘱、会議等への参加>

●大阪府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会委員の委嘱(年度末で退任)会議日 2019年7月16日、2020年3月24日会議構成員 15人

大阪府地球温暖化防止活動センター センター長 竹柴清二さん 大阪府環境農林水産部 環境政策監 中村大介さん 地方独立行政法人環境農林水産総合研究所 理事長 内山哲也さん 大阪大学 名誉教授 藤田正憲さん NPO法人エコネット近畿 辻 郁子 大阪府みどり公社 事務局 7人 大阪府(オブザーバー) 3人

●開発事業と連携して実施する環境活動等の推進に向けたワークショップ 2019年9月12日(木)9時~12時10分(2日目)に依頼にて参加 主催:環境省環境影響評価課

#### <他団体会報誌への寄稿>

●公益社団法人大阪自然環境保全協会 会報誌『都市と自然 No.513 2019年4・5月号』 "ドイツで出逢った「大阪自然環境保全協会」の明日"を寄稿

### 運営体制

#### 1 役員等の数

理事長 1人副理事長 3人

・理事 13人 ※都合により、任期途中の1月9日に1人理事が退任した。13人は退任後の理事数。

監事 2人

#### 2 2019年度総会の開催

【実施日時】2019年6月2日(日)13:00~16:00

【実施場所】大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 4階 大会議室3

【対 象】エコネット近畿 正会員

【内 容】審議事項

第1号議案 平成30年度 事業報告書 承認の件 第2号議案 平成30年度 活動計算書、監査報告 承認の件 第3号議案 2019年度 事業計画書(案) 承認の件 第4号議案 2019年度 活動予算書(案) 承認の件

第5号議案 2019年度 役員選仟の件

#### 3 理事会の開催

#### 第46回 定例理事会

【実施日時】2019年5月9日(木)19:20~22:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】11人(本人出席11人)

【内 容】平成30年度事業報告書(案)、平成30年度活動計算書(案)、 令和元年度事業計画書(案)、令和元年度活動予算書(案)、 3ヵ年計画策定手順案、役員選仟、総会内容案

#### 第47回 定例理事会

【実施日時】2019年6月2日(日)14:05~14:10

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人(本人出席14人)

【内 容】理事長および副理事長の互選

#### 第48回 定例理事会

【実施日時】2019年6月 22日(金) 19:10~21:10

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】13人(本人出席13人)

【内 容】年間スケジュールの確認、担当理事の決定、保険加入について

#### 第49回定例理事会

【実施日時】2019年9月26日(木)19:00~21:45

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】12人(本人出席 11人、書面表決 1人)

【内 容】ホームページの刷新、行政等の委託事業の受託、3組織での今後の協働

### 運営体制

#### 3 理事会の開催

#### 臨時理事会

【実施日時】2019年10月30日(水)19:00~21:30

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】11人(本人出席 10人、書面表決 1人)

【内 容】3ヵ年計画検討

#### 第50回定例理事会

【実施日時】2019年12月16日(月)19:00~22:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】16人(本人出席 13人、書面表決 1人)

【内 容】2019年度活動計算書見込報告、3ヵ年計画(案)、3ヵ年活動予算(案)

#### 第51回定例理事会

【実施日時】2020年2月20日(木)19:00~21:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【出席者数】14人 (本人出席12人、テレビ会議出席1人、書面表決 1人)

【内 容】情報交流会報告、2019年度事業報告(案)、2019年度活動計算書見込報告、合同会議報告

#### 4 ビジョン委員会の開催

2019年6月2日(日)総会時にビジョン委員会の起上げを公表、委員募集を開始した

以下の日程でエコネット近畿事務所にて、委員会を実施した

第1回 6月22日 (土) 10時~12時

第2回 7月27日 (土) 10時~12時

第3回 8月10日 (土) 10時~16時

第4回 9月28日 (土) 10時~12時

第5回 10月30日 (水) 19時~21時30分 ※臨時理事会と合同会議

第6回 12月1日 (日) 10時~12時

#### 5 運営会議の開催

今期は、各事業とも実行委員会形式で運営し、運営会議として事務局から理事会全体に招集をかけることはなかった。

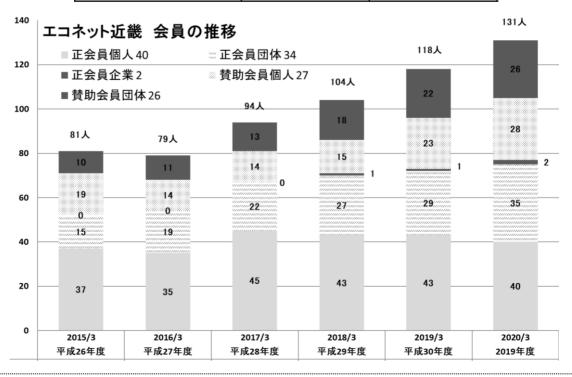
# 2019年度 事業報告書 会員数の推移

## 会員数の推移

各市民団体が会員獲得に苦戦する中、今年度も21団体・人の新規会員が増えた(種別変更含む)。 残念ながら退会者もいたので、最終的には13団体・人の増加となった。

会員特典をアピールして、会員を増やすという方針であったが、今年度は大きなキャンペーンを 打ち出すことができなかった。しかし、イベント時のみならず、会員からの紹介や個別相談等から 会員獲得につながった。

			2019年度期末	前年度比	
		団体	35	6団体増	
	正会員	個人	40	3人減	
会	只	*	企業	2	1企業増
員	替	団体	26	4団体増	
	賛助会員	個人	28	5人増	
	員	企業	0	団体同数	
合計(団体・人)			131	13団体・人増	



## 会員数の推移

### 会員数の推移

【入 会】 2019年4月~2020年3月

●正会員	(団体)	NPO法人 大阪府民環境会議	大阪府
		NPO法人 Gift	大阪府
		NPO法人 棚田LOVER's	兵庫県
		NPO法人 MSISK	大阪府
		NPO法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム	大阪府
		一般社団法人 南太平洋協会	大阪府
		Rびんプロジェクト	大阪府

- ●正会員 (個人) 1人
- ●正会員 (企業) 株式会社 ソイルワーキングス 大阪府
- ●賛助会員(団体) NPO法人 地域の未来・志援センター 愛知県 NPO法人 兵庫森林サポートセンター 兵庫県 森と畑のようちえん いろは 大阪府 公益財団法人 大阪みどりの森トラスト協会 大阪府
- ●賛助会員(個人) 8人

# NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

**〒**530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町4O1

TEL: 06-6881-1133 FAX: 06-6949-8288

E-mail: jimukyoku@econetkinki.org

URL: http://econetkinki.org